

「好き」から始まる私の物語

「きちんと自分のことが見つめられるようになった」「自分の意見を述べる力がついた」ある生徒は自身の成長をこう振り返った。1903年の創立時に掲げた「女性の本質を磨き、いつの時代にも適応できる教養高き女性の育成」という建学の精神に立ち返り、山脇ルネサンスと銘打った改革に着手したのは、2009年。志を持ち、社会で生き生きと活躍する女性のリーダーの育成を教育目標に定め、必要な素養である「自己知・社会知」「学力」「自己啓発力」「協働力」を培う体系的な学びを構築。今年度中には新校舎建設工事が完了。それに合わせた新たなプログラムも構想中だ。



山脇学園中学校・高等学校



リフレッシュコーナー



中2の「サイエンティスト」の授業



インフォメーションコーナーで学校内の情報を確認



掃除は大事。中1の最初のホームルームで指導を受ける



新体操着での体育の授業

新校舎を歩くと、廊下の椅子に座って談笑している生徒、リフレッシュコーナーで部活の打ち合わせをしている生徒の姿が見られた。10代の女の子が生活する場として、グローバル化、情報化が進む社会に志を持つてはばたくための力を培う場として、社会に出て恥ずかしくないふるまいのできる女性に成長する場として、11年間変わらない学園の志を強く感じる。河角真由さん(高2)はこう話す。厳しいところもあるけど、私たちにとって大事なことで、先生方には守られていると感じます。私は、今までわからないことがあっても、そのままにしておいたり、なんでだろう?と深く考えたりすることがあまりなかったんですが、山脇に入ってから、なんでこうなるんだろう?と思ったり、考えたりする機会が増えました。先生がいつでも質問してきていいよという雰囲気を出してくださっているの、自分から積極的に答えを探していくようになりました。

山脇学園の真価

できるようになったと感じ、1年間やってきてよかったと思います。(齋藤真由子さん・高1)



中1の「サイエンティスト」の授業



放課後に行われるSI(サイエンスアイランド)クラブでも、大学と連携し研究活動を続け、国際会議などでも発表を行う

本物に出会うことで、人生が決まることもある。「西表島はどうだった?」。そう尋ねると、「すごく楽しかった!」。まばゆいばかりの笑顔が返ってきた。昨年度、山脇ルネサンスの一年としてスタートした中3希望者による科学研究チャレンジプログラムでは、修学旅行として西表島でフィールドワークを行った。また、一人ひとりがロボットやパソコン、生物の中から興味のある分野を選び、テーマを設定。大学の先生からも支援を受けながら、1年がかりで高度な研究活動に取り組み、3月には報告会を行った。中学3年生とは思えないほどのレベルの高いプレゼンテーションからは、国語や総合の学習といった普段の授業の成果がうかがえた。何より主体性を持ち、真摯に向き合ったことへの自負が感じられた。脇野さん(高1)は、「ヌマエビの食性の研究に取り組みました。実験に失敗することも多く、途中で投げ出そうと思ったこともありましたが、友達と支え合うことで続けることができました。報告会も最後だからきちんと発表したいと思い、パワーポイントのスライド作りなど必死でがんばりました。達成感でいっぱいです」。清水美那さん(高1)は「パソコンで3Dの描画作品を作りました。使おうと思ったソフトが英語の仕様書しかなくて。英語がすごく苦手なで大変でしたが、どうしてもやりたかった。出来上がりはちょっと物足りない感じもしたんですけど、初めてにしてはうまくできたかな。とても充実した貴重な1年間でした」。サイエンスアイランド主任の小高暢子教諭に1年間の成果をうかがった。「成果というよりは、失敗した経験を積んだということが大きいです。こちらからアドバイスもしますが、生徒たちが自ら考え、立案、実行、検証の上、考察していく、また新たな研究を考え出してと何度も繰り返す。そこで失敗を重ねて重ねて、あるときに見えるもの、つかむものがある。その体験ですね。また、高度なスキルを磨く場でもありました。頭で知っているだけでなく、自分でやったという経験は大きいと思います。まだ中学3年生ですから、興味のあるものにチャレンジする場と位置づけていますが、驚くほどの「やりたい」という熱意、情熱を感じます」

一方、同じく昨年度よりスタートした英語チャレンジプログラム。朝礼、終礼、英語の授業を英語で行い、1年間の集大成として、イギリスへの修学旅行を実施した。最初は、明日は結局何があるの?みたいな日もありました(笑)。でもイギリスに行ったら、意外と耳が英語に慣れていることに気づきました。今まで勉強していたことが会話の中に出てきたりして、達成感がありました(増田美有さん・高1)。初めは、英語の授業が苦痛でした。そのうち、身になっているなどだんだん実感できて、今は、長文読解のときにこんなに



イングリッシュアイランドでの授業



屋外実験場で研究対象の「ヌマエビ」を採取